

電波時計 取扱説明書

(デジタル電子音目覚まし時計)

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- カレンダー・温度表示 ●電子音アラーム機能
- 携帯に便利なコンパクトサイズ

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1311)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品(電子回路など)は製造打ち切り後、3年間で基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース類)の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「8RZ107」をお伝えください。

お問い合わせ先 お客様相談室 **0120-557-005**

(フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

●誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
必ず守る
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

●電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- 電池を加熱したり、火の中に入れてたりしない。

●電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

●電池を外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

●浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

●分解・改造をしない
分解禁止
故障の原因になります。

●落としたり、たたいたりして衝撃を与えない
禁止
故障や破損の原因になります。

●ぬれた手で触らない
故障や誤作動の原因になります。

●下記のような場所では使わない。
禁止
部材の変形、変色、劣化、故障や性能が低下する原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生する所。
- 車中や船舶、工事現場など振動の激しい所。
- プールや温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など、多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接触れさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃
(液晶表示可読温度範囲0～40℃)
時間精度 標準電波受信成功直後 ±1秒
標準電波を受信しない場合
平均月差 ±30秒(温度が5～35℃のとき)
使用電池 単4形黒マンガン乾電池 JIS規格 R03 2個
電池寿命 約1年
アラーム:3秒/日、照明:3秒/日
標準電波 標準電波を受信して日付・時刻を修正
受信局 福島局/九州局自動選択
受信回数 1日8回
受信 ON/OFF ボタン操作にて切替可能

アラーム精度 表示時刻に対して ±0秒
アラーム音 電子音 鳴り方が変化
スヌーズ機能 あり
オートストップ機能 あり
カレンダー 2008～2099年対応
温度表示 -9.9～+50℃
温度精度 ±2℃ 測定温度範囲内での精度
照明 液晶表示部バックライト
防水性能 なし

標準電波受信開始時刻
1:16:40, 2:16:40, 3:16:40, 4:16:40
13:16:40, 14:16:40, 15:16:40, 16:16:40

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※単4形アルカリ乾電池を使用することができますが、マンガン乾電池と混ぜて使わないでください。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 単4形黒マンガン乾電池 2個 取扱説明書・保証書 本書

保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお買い上げ販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保存してください。

※品名・型番 8RZ107

※保証期間
お買い上げ 年 月 日より 1年間
お客様ご氏名 住所 様
TEL()

※販売店印(住所、店舗名、電話番号)

●本保証書は再発行いたしません。

※印は販売店記入

保証について

- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。
 - 1.保証書のご提示がない場合。
 - 2.保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
 - 3.お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
 - 4.お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
 - 5.天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
 - 6.お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
 - 7.ご使用中に生じる外観上の変化(ケースなどの小キズ)。
 - 8.電池の交換。

送料・出張料は、実費をお客様にご負担願います。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

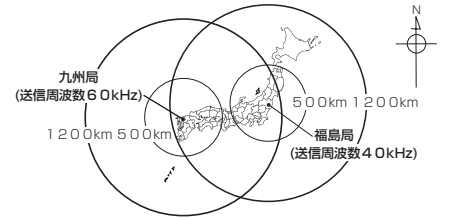
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jiy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手の届かない所に置く。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

時計、電池の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットを押してください。

お手入れについて

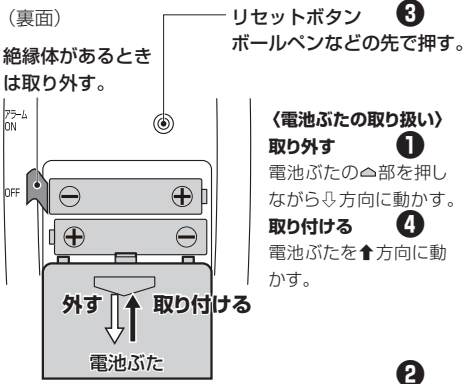
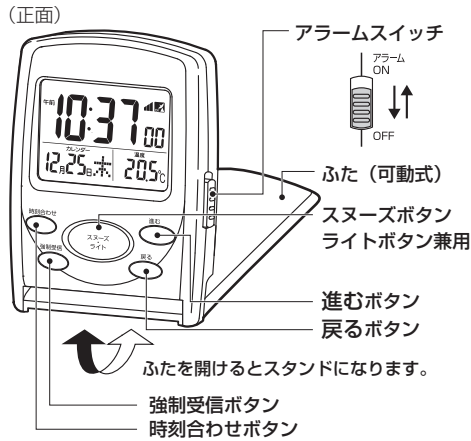
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

1 電池を入れて時刻を合わせる

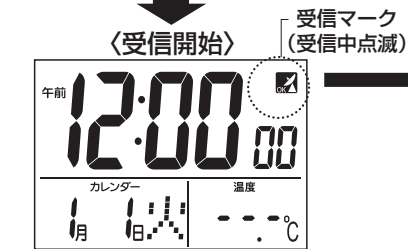
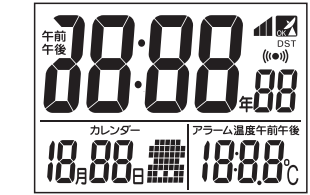
図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



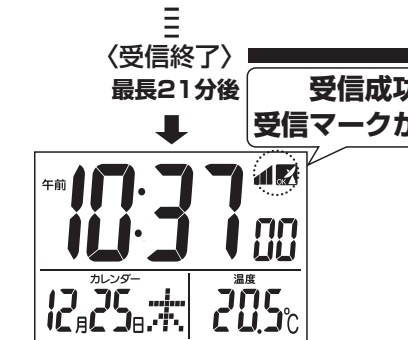
電池2個を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れる。

【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2008年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。



受信マークは受信成功後、24～25時間点灯（受信に成功したときの表示例）

標準電波を利用しないで、手で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

- 電池ふたを取り外す
- 電池を入れる
図のように電池を入れると「ピー」と鳴ります。
※短い時間に電池を入れ替えると鳴らないことがあります。
※電池を逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の危険があります。
- リセットボタンを押す
「ピー」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。
◎ 受信中はボタンに触れないでください。
- 電池ふたを取り付ける
- 21分経過したら受信結果を確認する
受信時間は、最長で21分程度です。受信マークで受信結果を確認してください。
→【受信の流れと表示】参照

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に**進む**または**戻る**ボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

受信マークの変化
電波の状態により変化します。（電波サーチ機能）

受信できない → 受信しやすい



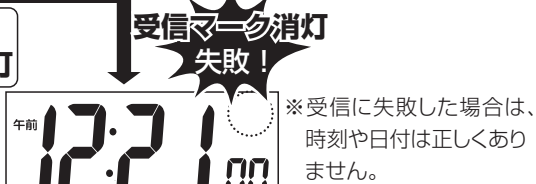
チェック!

1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

電波を受信しにくい環境

つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起さる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



※受信に失敗した場合は、時刻や日付は正しくありません。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日付と時刻を合わせるにより、ご使用になれます。

Ⓐ 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF（無効にして手動で時刻を合わせる）

- リセットボタンをおよそ1秒間隔で3回押してください。
- 「ピー」と鳴ってから押してください。
- OFFになると「ピー」と鳴りません。
- 日付および時刻は手動で合わせてください。

◎操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

Ⓑ 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。つぎのようなときは受信を開始しません。

- アラームが鳴っているときやスヌーズ中
- 手動でアラーム時刻または時刻を設定している最中
- 受信機能がOFFになっているとき

受信機能 ON（有効にして受信を開始する）

- 戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後**戻る**ボタンを離してください。
- 標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

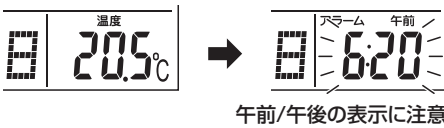
リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2008年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。受信機能がONのときは、受信を開始します。

2 アラーム機能の使い方

アラーム時刻の合わせ方

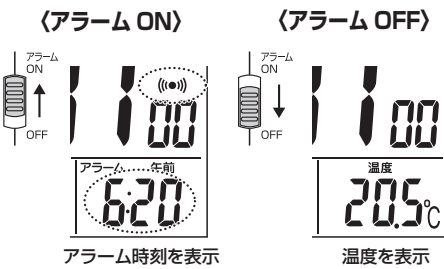
アラーム時刻を表示中は「アラーム」点灯



表示例

アラームスイッチがOFFのときに、アラーム時刻を午前6時20分に合わせる。

アラームスイッチのON/OFF設定



- 進むまたは戻るボタンを押す
「アラーム」の文字が点灯し、アラーム時刻が点滅します。
- アラーム時刻を合わせる
進むまたは戻るボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづけると早く変わります。
- アラーム時刻合わせを終わる
およそ5秒間ボタン操作をしない。

ON：設定時刻にアラームが鳴る。

▶アラームマーク(☎)が点灯し、アラーム時刻を表示。
※温度を確認するときは、アラームスイッチをOFFにしてください。

OFF：アラームを止める、鳴らさない。

▶アラームマークが消灯し、温度を表示。

アラーム音の試聴

アラーム時刻を現在時刻より、1～2分進んだ時刻に合わせて、アラームスイッチをONにしてください。アラーム時刻になるとアラームが鳴り出します。

アラームオートストップ機能（自動鳴り止め）

鳴っているアラームを放置すると約2分間で終了します。

スヌーズ機能（止めてもまた鳴る）

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマーク(☎)が点滅し、約5分間アラームが停止し、また鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク(☎)は点灯表示になります。

アラームご使用上の注意

アラームマーク(☎)が点灯しているときは、アラームスイッチがOFFにされるまで毎日アラームが鳴ります。

表示面の照明

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねていますので、ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。照明時は正面やや上方より見てください。他の方向から見ると読めないことがあります。

温度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えたときの表示 [HH.H] 5.0℃より高温 [LLL] -9.9℃より低温

設置場所について

空気がよく循環する場所に設置してください。直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
Ⓢ本製品は室内用です。室内の温度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度管理を行う用途には適していません。

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、マンガン電池とアルカリ電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

手動での時刻合わせ

標準電波を受信できないときや海外で使用するときなどは、手動で日付や時刻を合わせることができます。このときの時間精度は、クォーツ精度になります。



- (1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
- (2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
▶進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押しすぎると1つ単位に変わり、押し続けると連続して変わります。
▶時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。

●電波受信機能がONの場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。

※ Ⓐ 電波受信機能のON/OFF操作 参照

- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、手動時刻合わせを終了します。
- 電波を受信できないときの時間精度は、平均月差±30秒になります。
- 電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

操作例. 2014年12月25日 午前10:37に合わせる

- 時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間、時刻合わせボタンを押し続けます
- 進むまたは戻るボタンで年を「2014」に合わせて、時刻合わせボタンを押します。
- 進むまたは戻るボタンで月を「12」に合わせて、時刻合わせボタンを押します。
- 進むまたは戻るボタンで日を「25」に合わせて、時刻合わせボタンを押します。
- 進むまたは戻るボタンで時を「10」に合わせて、時刻合わせボタンを押します。
- 進むまたは戻るボタンで分を「37」に合わせます。このとき進むまたは戻るボタンを押すたびに「00」秒に設定されます。時刻合わせボタンを押して設定を終わります。